

M & Aを成功させるビジネスデューデリジェンスの 具体的アプローチと手法

~投資対象企業の事業内容把握と潜在的価値発掘のための調査、分析の基本~

■日 時■ 2017年12月11日(月) 13:30~16:30

■会 場■ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町) TEL 03-5215-3515

■講 師■ A. T. カーニー(株) プリンシパル 園田 圭 氏

【講師紹介】経済産業省、米系コンサルティングファーム、アドバンテッジパートナーズ、シグマクシス、オープンハウスを経て、A. T. カーニーに参画。アドバンテッジパートナーズ、シグマクシス、オープンハウスでは投資担当者として多数の買収検討を実施。

A.T. カーニーでは M&A 関連のプロジェクトを中心に従事しており、多数の日本の事業会社、ファンドに対して、 M&A 戦略の策定、デューディリジェンス、買収後の経営体制構築・シナジー創出支援などを多数経験。

◆ 開催にあたって *******

経済のボーダーレス化、グローバル競争が激化する中、企業成長や事業再編の戦略的手法としてM & Aの重要性が一段と高まっています。M & A取引を行うに当たって、投資対象企業や事業実態を把握するビジネスデューデリジェンスの作業は欠かせません。デューデリジェンスが不十分な場合、適正価格より高い買い物となってしまったり、購入後にデメリットが表出するなどのリスクがあります。本セミナーでは、担当者が知っておくべきビジネスデューデリジェンスの具体的な手法を基本から解説いたします。検証項目の特定、検証手法の特定、プロジェクト管理上の要点などの解説を中心に、M & A を成功に導くために必要なデューデリジェンスの基本知識を具体的に詳解いたします。

≪プログラムは裏面をご覧下さい≫

●受講料●1名〈税込み、資料代含む〉

正会員	32,400 円 本体価格 30,000 円
- 般	35,640 円 本体価格 33,000 円

- ●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。 後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書 をお送り致します。
- ●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意下さい。
- ●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な 点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→ 〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。
- ●お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしか ねますので、お申込者がご出席できない場合には、代理 の方のご出席をお願い申し上げます。
- ●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただくこともありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当:倉島 E-mail: kurashima@bri.or.jp 〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3515 FAX 03-5215-0951

- ◆当会HPからお申し込みください。 (企業研究会HP: http://www.bri.or.jp/)
- ◆もしくは、メールにて下記事項をご記入のうえ、担当者までご連絡ください。 ※FAXでのお申し込みの際は誤送信にご注意ください

が、							
17169	6 0101	*			2017.12.11		
申込書 M&Aを成功させるビジネスデューデリジェンスの 具体的アプローチと手法							
会社名	フリガナ						
住 所	₹						
ご氏名	フリガナ		所 属 微 職				
TEL			FAX				
E-mail							

^{*}お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させて頂きます。

M&Aを成功させるビジネスデューデリジェンスの 具体的アプローチと手法

12月11日(月)

●プログラム●

13:30

1. ビジネスデューデリジェンスの重要性

- 1)企業成長における M&A の位置付け
- 2) M&Aの成否はビジネスデューデリジェンスの質により決まる
- 3) M&Aを成功に導くビジネスデューデリジェンスの4原則(陥りがちな罠への対処法)
 - ・投資目的を明確にしているか=何を検証するか明らかか
 - ・目的を達成するための、検証体制を構築しているか
 - ・「高値買い病」を避けようとしているか
 - ・M&A="目標達成の「スタート地点」"を意識したものになっているか

2. 成功するビジネスデューデリジェンスのアプローチ、手法

- 1) ビジネスデューデリジェンスの構成、全体像
- 2) 全体のプロセスと初動の重要性
- 3) 初動でしなければならない12の項目

<検証項目の特定>

- ・基本ファクトパック(市場、競争状況、対象会社の観点からカバーすべき項目)
- ・M&A戦略ストーリー (ディールタイプ別の見るべき項目)
- ・DAY1仮説(投資命題を掲げ評価するのは3領域)

<検証手法の特定>

- ・データリクエストおよび質問表(取得が必須なデータ)
- 対象会社インタビューリクエスト
- 外部インタビューリスト
- ・消費者サーベイ(主に消費財の場合)
- ・ 文献検索 (一般文献、アナリストレポートなど)
- ・ 想定分析資料 (「モック」 基本的なデューデリジェンス分析アプローチ)
- ・経済性計算ワークシート (モデル) の骨組み (経済性計算シートの構造)

くプロジェクト管理上の要点>

- ・工程管理 (デューデリジェンスの分析ワークプラン)
- ・コミュニケーションリスト・外部巻き込み
- 外部専門家の使い方

3. プライベートエクイティーのビジネスデューデリジェンスから学ぶ

- 1) プライベートエクイティーとは
- 2) プライベートエクイティーの仕組み
- 3) コーポレートとプライベートエクイティーファンド とのビジネスデューデリジェンスに対する考えの違い
- 4)失敗に学ぶ(ビジネスデューデリジェンスの失敗)